1977 年 12 月 3 日　第 3 種郵便認可　毎月 18 回(1,2,3,5,6,7 の日)発行　2017 年 7 月 13 日発行　SSKP　通巻第 6662 号

ＳＳＫＰ　自立生活センター･小平　通信

Unique your Life

ユニークユアライフ

【表紙写真】2017 年４月　お花見より

2017.7

1977 年 12 月 3 日　第 3 種郵便認可　毎月 18 回(1,2,3,5,6,7 の日)発行　2017 年 7 月 13 日発行　SSKP　通巻第 6662 号

目　次

Unique your Life

ユニークユアライフ

2017.7

報告

ｐ　３　訃報　小泉守さんへ　感謝を込めて

ｐ　４　お花見報告

ｐ　６　クリスマス会報告

連載

ｐ　７　わたしと障がい

ｐ　８　ＮＥＷ　ＦＡＣＥ紹介

ｐ１１　こだいらいん

ｐ１２　歩いてきた道、これから行く道

ｐ１３　フラッといい店

ｐ１４　事務所移転のお知らせ

ｐ１５　活動報告

ｐ１７　編集後記・地図

ｐ１８　サービスのご案内

訃報　小泉守さんへ　感謝を込めて

宮下　勇一

小泉守さん　奥様とお二人での写真

平成２９年４月１２日の早朝、小泉守さんが肺炎のため旅立たれました。享年６５歳でした。

小泉さんには、ＣＩＬ･小平の設立当初から大工として利用者の住宅改修や事務所の改修で多大な尽力をいただきました。当時は介護保険制度の施行前で、住宅改修を専門で行ってくれる業者などおらず、既製品や一般的なノウハウもあまりないような時代でした。

そんな中で小泉さんは、当事者の声にしっかりと耳を傾け、確かな腕と創意工夫で、障がい者が使いやすい生活の場を作り上げてくれました。利用者からも「小泉さんの作ったものはしっかりとしていて長く使える」と評判でした。また、設立して間もなくお金のない事務所や、特殊な利用者の事情にも理解と配慮をしてくれました。小泉さんの助力やアドバイスがあったからこそうまくいったケースもたくさんあったと思います。

作業着姿に素足にサンダル。タバコとコーヒーを片手にふらっと事務所に現れ、事務作業中でも会議中でも居座って世間話に花を咲かせたり、スタッフと釣ってきたイワシを事務所の換気扇で一夜干しにしたりと、とにかく自由で楽しい人で、ＣＩＬ･小平の欠かせないキャラクターのひとりでもありました。

平成１９年１０月に脳幹出血により遷延性意識障害となってからは、利用者としても私たちと関わるようになりました。
当時の代表からも「小泉さんは『事務所の恩人』だから、本人にも家族にもできる限りの支援をしたい」と言われ、微力ながら私も力を尽くそうと思っていました。しかし、事務所のイベントに来れば小泉さんのそばに人が集まり、時期になれば釣りの弟子たちが海釣りに誘ってくれ、何より家族が愛情を持って小泉さんと接している姿を見て、サービス云々以前に、この人のこれまでの生き方、人との関わり方が、そのままこれからの人生を支えていくのだと学ばせてもらいました。

ＣＩＬ･小平の恩人であり、私にとっても多くの人にとっても恩人である小泉守さんのご冥福をお祈りしつつ、深く感謝の意を捧げます。

お花見報告

澤田　佳士

　こんにちは。新参者感が抜けたとかってに思っています、澤田です。
　やっと寒い冬が終わり、春がやってきましたね。だんだん暖かくなって外に出やすい気候になり、私の心もカラダも上がり調子になっています。

　さて、４月４日(火)事務所のお花見を行いました。毎年この時期は寒く、凍えながらみんなでお弁当を食べているという話を聞いていたので、全身防寒を覚悟していました。しかし、当日はなんと20度を超える晴天！公園内には半袖の人もチラホラ。
　参加いただいた皆さんも例年より暖かくて良いという声もいただき良かったです。何より寒がりの私が心の底から喜んでいました。

　平日の昼間でありながら、家族連れ、学生さんなど、老若男女たくさんの人がお花見にきていて非常に園内は賑わっていました。
　桜は満開とはいきませんでしたが、７分８分咲きという具合で個人的には見頃だったと思います。ケツメイシではなく、森山　直太朗の「さくら」！！って感じでしたね(桜舞い散るではなく、今咲き誇っているということを言いたいのです。詳しくは歌詞をググってください)。

　参加者は、スタッフ、利用者さん、介助者、総勢20名ほど。
ボリューム感のある唐揚げ弁当とお味噌汁をすすりながら、桜を堪能しました。食べ終わった後の満腹感は桜の効果もありながら結構なものになりました。男性側のテーブルはだいぶ満足な様子でしたよ。

　食後は園内の広場に移動し、レクリエーション。
　１つ目は「瀧澤を探せ」。
初めて私はやりましたが、我が事務所の人気者の瀧澤が広場に隠れるのを探すという、非常にシュールなゲームからのスタート。

感想は、うん…とても盛り上がっていたと思います(笑)。個人的には最高でした。意外とみなさん見つけるのが上手で早かったですね。次回は迷彩服を着用したほうがいいかもしれません。

２つ目は「椅子取りゲーム」。
どうやってやるの？と疑問に思っていましたが、車椅子の方は音楽が止まったらシンプルに椅子にタックル！と、思ったより激しめなゲームでした(笑)。

当たりの違いか、心なしか後半は車椅子利用者のほうが多く残っている印象でしたね。良い B'z が広場に鳴り響いていました。最後にみなさんで記念撮影をして無事終了。天候にも恵まれ、初めての印象としては気持ちの良いお花見になったと思います。

これも準備、場所取り、片付けを手伝っていただいた事務所関係者、利用者さん、介助者のみなさんの力あってのことです。ありがとうございました。
また来年も過ごしやすい日にできることを願います。

クリスマス会報告

瀧澤　真沙志

こんにちは。休日に散歩をしていて「向日葵」を見つけ、「季節はあっという間に夏に移り変わっているのだな～」とふと感じた今日この頃です。

この通信が出ている頃は７月ということで、セミが段々と鳴き出していたり、コンビニで「手持ち花火」や「スイカバー」が販売されていたり、・・・とにかくこれから夏が来ます！！

今年も夏バテに気を付けて、夏を楽しみましょう。

さて、この頁では季節を巻き戻しての、去年の 12 月に開かれたクリスマス会（利用者交流会）のことを書きたいと思います。

去年のクリスマス会（利用者交流会）では「新しい障がい当事者職員」の仲間（詳しくは「ゆに～くゆあらいふ」平成 29 年 2 月号の 12～13 頁を見て下さい。）も加わり、参加者は当事者職員含めて 11 人での開催でした。当日のメニューは、クラムチャウダーやカボチャのサラダといったクリスマス会らしいメニューを準備して利用者の方と昼食を食べて過ごしました。

昼食後は、阿保さんのタブレットによるゲーム「早口言葉とイントロクイズ」そして毎年恒例のプレゼント交換となっていました。

会を開くにあたり、各自役割があるのですが、私が役割として任されていたのは「カメラ係」でした。通信に使われるであろうことを念頭に置きながらクリスマス会（利用者交流会）「全体の雰囲気を撮ってみたり、チキンにかぶりついている人を撮ってみたりと・・」どんな風に撮れば良いかと四苦八苦しながら撮っていた写真も以前の通信で使われていたので内心ほっとしています。

話は飛びますが、私が当事者職員として入った時と比べると CIL 小平の障がい当事者職員の人数も少しずつではありますが、増えてきています。

私が入りたての時は「集団の中で複数の事を同時にやるのが障害の関係上苦手なところもあり、あたふたしたり協力して動けなかったり・・自分の障がいに対する理解がいまより乏しかったり・・・」ということが多くあった様に思います。

それと比べると、去年のクリスマス会（利用者交流会）では自分の役割が少しは出来てきたかと振り返ると思います。今後も当事者職員一同で協力して食事会等を盛り上げていければと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

わたしと障がい
-EPISODE4-

阿保　弘平

みなさん　こんにちは～

今回は予告通り作業所パート2を書かせて貰います。 前回までは痛い経験を話しましたが今回は楽しい話をしたいと思います。えっ、今回もおもしろく書けって、あれでも私はまじめに書いてるつもりです＾＾

まぁ、まえおきはさておき本題に入ります。作業所では園芸担当で市場に仕入れやなんかもしてました。まず、朝１０時くらいに作業所に行って、そこから作業所の職員が運転する車でえっちらほっちら青梅まで行きます。仕入れ市場についたら、あれがいいかこれがいいか四季それぞれの花を選びます。え、私が花を選べる知識あるのかって、それはまぁてきと～ですｗｗ一年草、多年草や多肉植物、水を好む植物、そんなのしりゃせん。（作業所の人も読むかもだし、ぶっちゃけちゃっていいのかって、そりゃあまぁ、よくないかも、こわいです＞＜）

そこの市場は飛行場みたいな倉庫です。わからないって、まぁいいじゃん。そこで私は、はじからはじまで車椅子で歩き回ったり、とにかくじっとしてませんでした。広いとこってなんかうきうきしませんか？

花を選んだら、近くのお店で肥料や園芸用の土や花を入れるはちを買いに行きます。そこでも動き回ってました。車にひかれそうになったり、前回話した駅の支柱に乗り上げた話の二の舞で、車止めに片輪乗り上げて倒れそうになったりで死に掛けました。買い物もすんで、またえっちらほっちら車にゆられて作業所に帰ります。雨が土砂降りの日や炎天下の日、雪の日に凍えるぐらい寒い日はつらかったです＞＜まぁ、槍や爆弾は降らなかったけどねｗｗ

作業所に帰ったら仕入れた花に値段をつけます。そこもまぁ、てきとーじゃまずいから計算しました。タイヘンでしたが＾－＾：なぜ、かたことかって、それはまぁ、あれです。

あと、年に二回ぐらいセールという名の休み前の在庫処分市をやりました。そこでは、チラシまきも自分たちでやりました。みなさんは道に迷うほうですか？私はよく道に迷いました。ガキかって(;^_^)それは、、、言い訳できません。

あと、チラシまきは夏場と冬場にやるので、またこれも土砂降りや炎天下、雪にひょうにみぞれにどんなにもきびしくともやりました＞＜

次回はいままでのまとめになるか、CIL・小平と出会う話になるか、どっちにしようかな～

New Face

新井　ひかり

初めまして。今年の4月から障がい者職員として勤務させていただいています、新井ひかりと申します。平成10年1月生まれの19歳です。出身は新潟県長岡市、育ちは新潟市です。ローカルフードの笹団子とイタリアンが好きで、新潟一番（地元の番組）を毎週見ていました。20歳になったら、地酒の日本酒を呑むのが密かな夢です。

趣味は YouTube で嵐の動画を視聴すること、カラオケをすることです。いわゆるジャニーズオタク？です。嵐のメンバーは、二宮和也さんがタイプです。歌やダンスが上手く、話が面白いところ、ゲーマーなところが好きです。また、大野智さん（リーダー）や相葉雅紀さんとの話の掛け合いが面白く、テレビを見ていると笑いが絶えないです。

障がいは、脳性麻痺です。物心がついた時には車いすで全介助でしたが、PT のリハビリのおかげで徐々に立位で動けるようになりました。

学生時代で印象的だったことは、特別支援学校の生活で「人との繋がり」を勉強させていただいたことです。私が通学していた学校は、クラス（ホームルームや行事を一緒に行う集団）と学習グループ（１人１人の学習状況に合わせた集団）という大きく分けて２つの集団がありました。学校では、高等学校に準じた教育課程の学習グループに所属していました。高等学校と同じように学年によって学習する教科の数が異なりますが、授業時間が１コマ 45 分で自立活動の教科もあったため、多忙な日々を過ごしていました。

一方で、学習を終えてクラスに戻ると、高等学校に準じた教育課程の級友が多くはない状況でした。その中で私にできたことは、クラスで一緒の時間を過ごすことでした。重複障がいなどの友人と、表情や文章、声でコミュニケーションをとったり、相手に合わせて学習のサポートや遊びをしたりしました。この経験から、色々な人との繋がりが私を成長させてくれました。

特別支援学校を卒業後、事務職に就職したかったので、所沢の国立職業リハビリテーションセンターで専門の学習をしていました。けれども、就職活動をしている中で、特別支援学校の経験から、障がい者のサポートがしたい気持ちが諦めきれず、CIL 小平に応募したところ、採用していただき今に至ります。

社会人１年生で、分からないことがたくさんありますが、自分の経験を活かして仕事ができるように努力していきますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

New Face

森口　裕行

みなさんこんにちは。４月から職員として働くことになりました森口裕行と申します。2015 年 4 月から働き始めたので勤続 2 年になります。

まずは自己紹介ということで、出身は静岡県磐田市。東京で音楽がやりたくて大学を機に上京（といっても埼玉県の川越市ですが）。バンドをやっていたんですが諸事情により休止、そして就職活動、以後こちらで働かせてもらうことになりました。

趣味は読書、映画、美術館、落語、居酒屋巡り etc…。

長いこと川越に住んでいましたが、先日晴れて西東京市に引っ越して参りました。長時間の電車通勤から卒業し通勤時間の短いことの幸せを噛み締めているところです。

知らない街を散策するのが好きなのでこれから東京の街をどんどん歩いてやろうと思ってます。

CIL 小平に入るまでは障害者施設の夜勤専門パートで働いていました。施設ではひたすら着替え、ひたすら体交、ひたすらオムツ交換 etc…。だいぶ鍛えられました。

小平に入るときは恐らくその経験も含めて採用して頂いたと思うんですが、いざ入ってみてびっくり。全然違うんですね。やる内容も違えば、考え方も違う。「何か考え方複雑だし良く分からないけど、何か凄そうだぞ」と思ったのを覚えています。

僕は川元さんを知りません。職員の皆さんには色々なことを教えて頂きますが、CIL 小平の理念や考え方を本当に理解出来ているのか？と言われれば正直不安です。ですがまずは自分の思ったことをしっかりやっていけば良いのかな？と思う今日この頃です。

今は高齢の方や知的障害の方の介助に入ることが多く、自分の意思を上手く伝えられない方に対し、「個人を尊重する」という当たり前のことを、どういうアプローチで行うのが一番良いことなのか日々悩みながら介助に入っているところです。

新しいことが苦手で不器用な僕ですが、少しでも CIL 小平に貢献出来るように一生懸命頑張って行きたいと思っています。どうか皆さん宜しくお願いします。

New Face

鈴木　加奈子

こんにちは。まだお会いしたことのない方は、初めまして。鈴木加奈子と申します。昨年７月より働いておりまして、４月より一般職員になりました。まだここで働きはじめてからの期間が短いので、今回少しでも私のことを知っていただけたら嬉しいです。

出身は、桃がおいしい福島県の会津地方です。緑の山々に囲まれ、畑で近所のおばあちゃんたちに遊んでもらいながら育ちました。身近な存在だったので植物が好きです。そしてだいぶのんびりした性格だと思います。栃木県の大学卒業後、そのまま栃木の障害者支援施設に就職しました。しかし、人の役に立ちたいという思いとは反対に、いつも何かに追われていて、利用者さんから声をかけられても「ちょっと待ってね！」となってしまうのが常でした。知的障害のある方の入所・通所施設だったのですが、集団行動なため、集団から外れてしまった人やトラブルを起こしてしまった人をいつも注意したり怒ったり…集団行動だから仕方ないと思いながらも職員主体の支援方法に限界を感じていました。

転職を考え、福祉以外の仕事がしたいと探し始めたのですが、特に特技ややりたいことがないので苦戦し…そんなとき、この仕事に出会いました。１対１なら後回しになることはないし、「指示介助」という方法で、本当に求めている事、必用な介助をすれば良いという考え方に共感し、面接を受け、今に至る、という感じです。

趣味は絵を描くこと、読書、お昼寝ですが、新しい趣味を探し中です。普段はインドア派ですが、大学時代にハンドベル部に入っており、演奏旅行で初めて行ったハワイで海外旅行の楽しさを知りました。社会人になるとなかなかまとまった時間がないのですが、前の職場にいたとき夜勤明け２連休で台湾に行ったこともあります。また時間を作ってどこかに行けたらいいなと考え中です。

一般職員になったものの、まだまだ経験不足、知識不足で足りないことだらけです。これからたくさんの方とお会いする中で成長していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

1977 年 12 月 3 日　第 3 種郵便認可　毎月 18 回(1,2,3,5,6,7 の日)発行　2017 年 7 月 13 日発行　SSKP　通巻第 6662 号

こだいらいん ⑭

“こだいらいん”はお古な職員から真ん中どころの職員の方々の自己紹介や、今思っていることなどいろんなことを紹介していくコーナーです！

角田　章子

皆さま、こんにちは。角田（つのだ）章子と申します。

職員になって 14 年、仕事は介護保険、事務、介助などをやっています。

他の皆さんより少し（大分？）年令は上ですが、若い時は一般の会社に就職し、６年ほどＯＬをやっていました。

出産のため退職し、下の娘が小学校に上がったのを機に、又仕事を始めた時に出会ったのが介護の仕事でした。

最初は高齢者の介護をやるつもりで、小平市のホームヘルパー研修を受けました。

その後ご縁があって、小平にお世話になることになりました。

最初は自立生活センターの活動がよくわからず、介助をしながら、色々なところに付いて行き、ピアカン、ＩＬ、事務所のイベントのバーベキューや旅行、募金や全国の集まり、厚生省への抗議行動、地方への出張など、人生はじめて体験することが多かったですが、時間をかけて段々に慣れたり覚えてきたような気がします。

今は当事者職員さんたちと同じフロアーで仕事するのが、ほっとできるような、安心できるような、そんな気持ちがします。

私が介助や支援で関わってきた皆さんは、支援を受ける状況ではありますが気持ちがお元気な方が多く、長い人生を生きてこられたパワーを感じ、こちらの方が元気をいただくことも多いです。

途中体調を崩すようなこともありましたが、こうでなくてはダメと言わず、大きなところで受け入れていただき、働いてくることができてとても有難く思っています。

歩いてきた道　これから行く道

岡村　千重子

３年前、前代表の川元が亡くなり、同じ年の 11 月には最愛の母を亡くしました。死というものが一気に近くに迫って来たと感じたのを今でも覚えています。この数年で、仕事で関わる方たちも含め、自分のまわりで人が亡くなることが多くなりました。自分の歳を考えても、これからもっとたくさん起こる、それにはっと気付いたときは、怖いしどうしたらいいかわからないし、うろたえました。でも人が生きている限り、必ず最後には死があります。悲しいとか辛いと言っているだけでは、この先自分が参ってしまう。死とどう向き合うかについて、自分のこととして考えるようになったのは、それが始まりでした。

人が亡くなるつらさの一つは、もうその人に会えないことです。残念ですがこれはどうにもなりません。過ぎていく時間に自分を預けて、その人を思い出して心が満たされたり、やっぱり寂しくて涙が出たり、その繰り返し。だんだんに、この新しい時間に慣れるしかないんだなあと思っています。

その人とのかかわりの中で、もっとああできたんじゃないか、とか、もっとこうしておけばよかった、という後悔のようなものをどうしても感じてしまうこと、それが、私が思う一つのつらさです。考えれば考えるほど、辛い気持ちが大きくなり苦しくなります。

でもこれは、自分次第でどうにでも変えられます。散々自分を責めて苦しくなった果てに、そう気付きました。はたして相手はどう思っていたか？それは今となっては知ることができません。ならば、自分が楽になるように考えよう。そんな風に少し開き直ったら、なんだか気持ちが明るくなりました。

独りよがりかも･･･いや、まさにそうなんです。自分で自分の気持ちを決めるしかないのです。

「あの時、ああすれば良かったのかも知れない」ではなく、「たくさん考えて、あの時一番いいと思ったことをしたんだ。精一杯やったよ！」と自分に言ってあげることが大事だと思っています。

私の気持ちはすぐ、行きたい方向と反対の方に行こうとします。だから、自然にそう思えることは少なく、むりやり明るい方に引っ張っていくことがほとんどです。でも、そうやって自分の気持ちを良く見て修正する、それを繰り返すことが、「死を受け止める」ということにつながっていくのだと思っています。

誰かが亡くなった後で、

- その人のことを、あたたかい気持ちで思い出せること（と言っても涙はつきもの）
- 時間はかかっても、もとのいつもの生活を送れるようになること

そうなれば一区切り、少しずつその人がいないことを受け入れられているのかな、と。

生きていると、迎え入れるしかないことがたくさんあるんだな、と最近思うようになりました。拒むことができないのなら、工夫次第、気持ち次第で変えてやろう、と思います。いつでも来い！とまではまだ言えませんが、向き合っていく覚悟は少しだけ固まってきている気がします。

Flat ★★★ フラッといい店

紹介者→山嵜　涼子

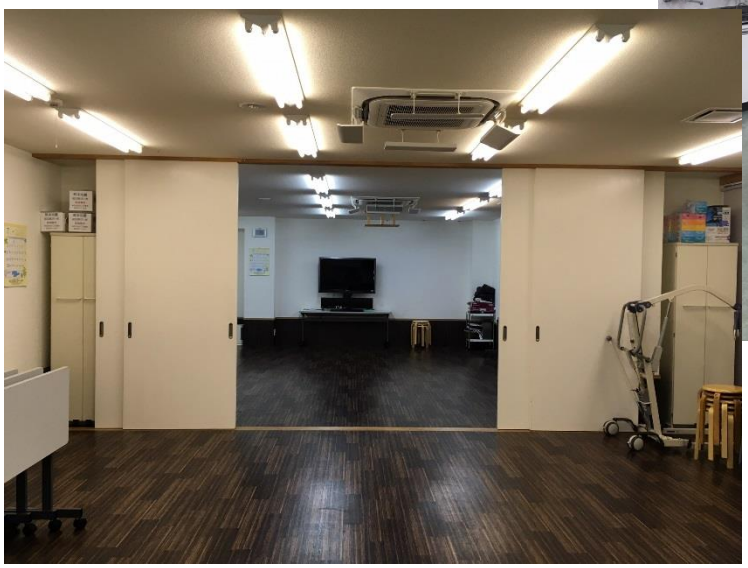
皆様こんにちは　今回は私がよく行くカフェをご紹介します。
所沢西武１階『カフェコンフォート』です。
ワッフルとコーヒー専門店です。コーヒーは１杯ずつサイフォンで入れていますので香りも良い。
ワッフルは季節ごとにメニューが変わります。
写真は今年の新緑の季節。イチゴたっぷりクリームタイプのイチゴワッフルでした。

このお店にいくのは娘とのデート。
社会人になった娘とは一緒に出掛ける時間が合わなくなり、たまーに少しの時間ができた際に利用し近況報告をします。
母の私はとにかく甘いのが苦手。もっぱら入れたてのコーヒーを楽しみ、娘はワッフルとお紅茶です。
店内はテーブル席も割と多くあり、所沢駅ロータリーを行きかう人々を眺めることのできる窓に面したカウンター席も充実。足の長い私でも足がしっかり入りゆったりくつろげます。デパートなのでトイレの心配もなし。なんとなんと、最近になって同じフロアーにビール専門店もできました！また娘と楽しんでいます＾・＾

事務所移転のお知らせ

　すでにホームページ等でお知らせしていますが、自立生活センター・小平は平成 29 年 3 月 1 日より新しい事務所に移転しました。新しい事務所は、以前の場所とは道を挟んで向かい側ですので、アクセスはいままでとほぼ変わらずに利用することができます。

　これまでの事務所に比べて、新しい事務所では相談や会議で使うことができる個室が２ヶ所に増えました。様々な相談に、よりいっそう対応できることになります。また、全ての個室の扉を開け放つと、一続きの大部屋となります。内装はきれいで広々としており、イベント等もこれまでの事務所「パラシオ」より余裕を持って開催することができそうです。
　電話番号はこれまでと変更ありません。利用者・介助者の皆さんも、お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。



《 活 動 報 告 》

2017 年　1 月		
5 日	（ 木 ）	ピアカン ILP 会議／障害平等研修打ち合わせ（山嵜）
6 日	（ 金 ）	報告検討会議／職員会議／障害平等研修打ち合わせ
10 日	（ 火 ）	マネージャー会議／ピアルーム
11 日	（ 水 ）	研修会議
12 日	（ 木 ）	CIL エコー来所／GM 会議／ピアカン ILP 会議／GM 会議
13 日	（ 金 ）	報告検討会議
14 日	（ 土 ）	CIL ほにゃら 15 周年記念講演会（淺川）
17 日	（ 火 ）	利用者交流会／マネージャー会議
18 日	（ 水 ）	GM 会議
19 日	（ 木 ）	自薦ヘルパー推進協会講師会議／チームリーダー会議／ピアカン ILP 会議／医療情報会議
22 日	（ 日 ）	全国脊髄損傷者連合会新年会（淺川）／～24 日（火）CIL 日野ピア・カウンセリング集中講座（阿保）
23 日	（ 月 ）	ピアカジュアル
24 日	（ 火 ）	利用者会議／マネージャー会議／個別 ILP（小泉）
25 日	（ 水 ）	小平市障害者団体連絡会（瀧澤）
26 日	（ 木 ）	GM 会議／ピアカン ILP 会議
27 日	（ 金 ）	CIL ふちゅう来訪（竹島）／報告検討会議／DPI 日本会議バリアフリー部会（山嵜）
30 日	（ 月 ）	CIL いろは来訪（竹島）／個別 ILP（淺川）
31 日	（ 火 ）	マネージャー会議

2017 年　2 月		
2 日	（ 木 ）	GM 会議／ピアカン ILP 会議／ILP リーダーズ（大渕、阿保）／障害平等研修打ち合わせ（山嵜）
3 日	（ 金 ）	職員会議
6 日	（ 月 ）	ピアカジュアル
7 日	（ 火 ）	マネージャー会議／JAICA バリアフリー研修（山嵜）
8 日	（ 水 ）	研修会議
9 日	（ 木 ）	GM 会議／ピアカン ILP 会議
10 日	（ 金 ）	報告検討会議
11 日	（ 土 ）	障害平等研修打ち合わせ
13 日	（ 月 ）	個別 ILP（淺川）／個別ピアカン（阿保）／DPI 日本会議バリアフリー部会（山嵜）
14 日	（ 火 ）	マネージャー会議／個別 ILP（淺川）／ピアルーム
16 日	（ 木 ）	GM 会議／ピアカン ILP 会議／チームリーダー会議／医療情報会議／個別 ILP（淺川）
17 日	（ 金 ）	たいよう福祉センター来訪（竹島）／個別 ILP（淺川）
18 日	（ 土 ）	交通エコロジー・モビリティ財団研修（山嵜）
19 日	（ 日 ）	全国脊髄損傷者連合会会議（淺川）

21 日	（ 火 ）	介護保障協議会常任委員会電話会議（竹島）／マネージャー会議／障害平等研修（山嵜）／利用者交流会
23 日	（ 木 ）	GM 会議／ピアカン ILP 会議／交通エコロジー・モビリティ財団トレーナー研修（山嵜）
24 日	（ 金 ）	報告検討会議／東京都自立生活センター協議会スカイプ会議（竹島）／報告検討会議
26 日	（ 日 ）	全国脊髄損傷者連合会会議（淺川）
27 日	（ 月 ）	自薦ヘルパー推進協会事務局会議（竹島）／個別 ILP（淺川）
28 日	（ 火 ）	ピアカジュアル打ち合わせ／ピアカン勉強会

2017 年　3 月

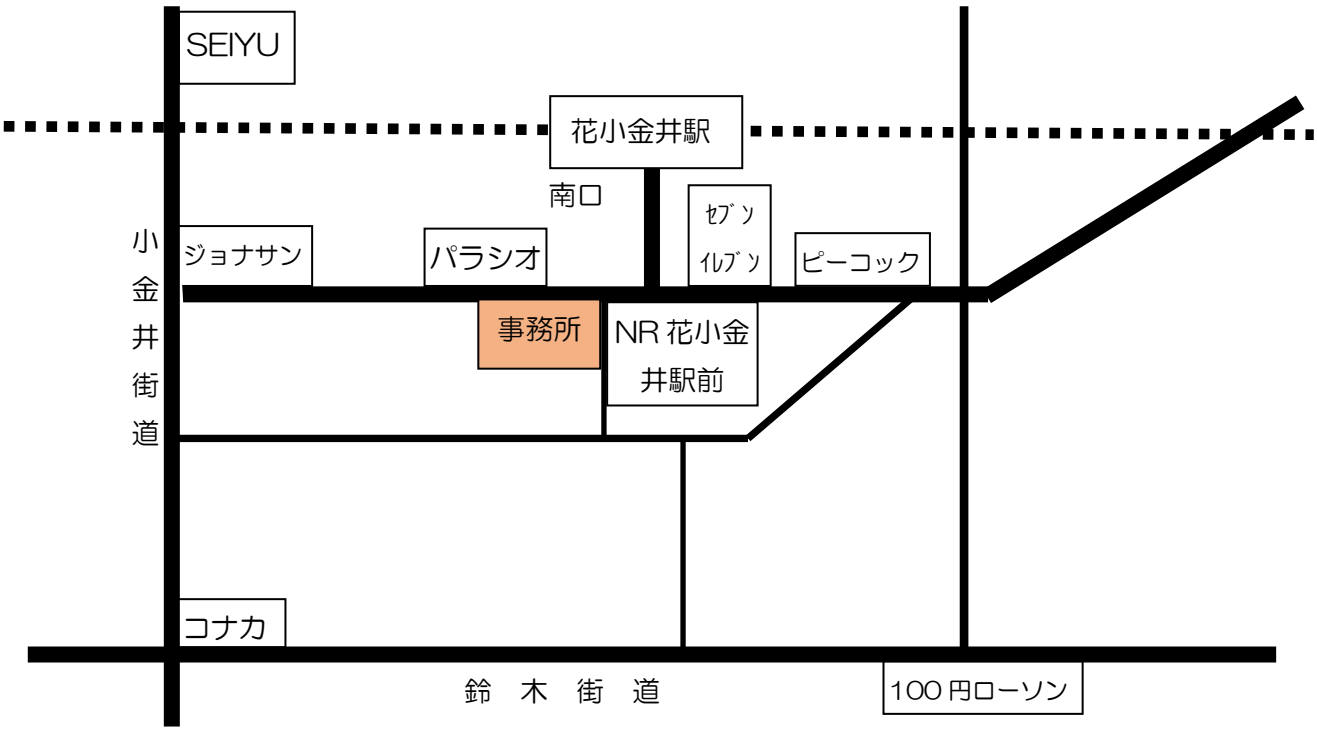
1 日	（ 水 ）	DPI 講習（澤田）
2 日	（ 木 ）	GM 会議／ピアカン ILP 会議
3 日	（ 金 ）	研修会議
6 日	（ 月 ）	ピアカジュアル
7 日	（ 火 ）	マネージャー会議／ピアカン勉強会
8 日	（ 水 ）	障害者センターピアカン
9 日	（ 木 ）	GM 会議／個別 ILP（淺川）／心のバリアフリー研修会（山嵜）
10 日	（ 金 ）	職員会議／報告検討会議
11 日	（ 土 ）	そうか光生園訪問（淺川、大渕）
13 日	（ 月 ）	あおぞら福祉センター来訪（竹島）
14 日	（ 火 ）	マネージャー会議
16 日	（ 木 ）	チームリーダー会議／自薦ヘルパー推進協会会議（竹島）／ピアカン ILP 会議
17 日	（ 金 ）	個別 ILP（淺川）
21 日	（ 火 ）	介護保障協議会常任委員会電話会議（竹島）／マネージャー会議／個別 ILP（淺川）
22 日	（ 水 ）	DPI 日本会議バリアフリー部会（山嵜）
23 日	（ 木 ）	GM 会議／ピアカン ILP 会議／ピアカジュアル会議
24 日	（ 金 ）	東京都自立生活センター協議会会議（竹島）／報告検討会議
26 日	（ 日 ）	全国脊髄損傷者連合会会議（山嵜）
27 日	（ 月 ）	自薦ヘルパー推進協会事務局会議（竹島）
28 日	（ 火 ）	マネージャー会議／利用者交流会／ピアカン勉強会
29 日	（ 水 ）	杉並区交渉（竹島）
30 日	（ 木 ）	GM 会議／ピアカン ILP 会議／DPI 日本会議（山嵜）
31 日	（ 金 ）	お墓参り

編　集　後　記

みなさんこんにちは。今年も暑い夏がやって来ましたが、いかがお過ごしですか？夏の過ごし方といえば、クーラー、アイス、海、避暑地に行くなどですが、私のオススメは断然ホラーです。昔から好きだったのですが、少し前に貞〇VS〇〇子を面白半分で見たら、これがかなり良くできていて、ゾクゾク涼しくなりました。みなさんも是非いつもと違う涼み方にチャレンジしてみてくださいな。ではではエアコンなどでの夏風邪にご注意しながら、楽しい夏をお過ごしください。

（編集長　小泉）

■自立生活センター・小平　地図



２４時間・３６５日介助派遣

近隣の8市区にまたがって身体障害者、知的障害者、精神障害者にサービスを提供しています。(初めてサービスを利用する場合は、利用規約等について事前に説明する場を設けさせていただきます。)

	一般の方	医療的ケアの必要な方
平日日勤（7時～23時）	￥１，６５０	￥１，８８０
土日日勤（7時～23時）	￥１，７００	￥１，９４０
夜　　勤（23時～7時）	￥１，７００	￥１，９４０

・ＩＬＰ、ピア・カウンセリング利用　ご相談ください。
・総合支援法によるヘルパー利用　　ご相談ください。

障害者生活支援事業

◇介助制度、手当、住宅改造、生活保護などの制度利用の申請のサポートならびに生活に関わるあらゆる相談をお受けします。
・電話相談：３６５日、９時～２２時
・面接相談：月～金、１０時～１７時
◇ピア・カウンセリング（集中講座、個別）
◇自立生活プログラム（生活力、社会性を高めるプログラム）
長期プログラム、短期プログラム、個別プログラム、単発プログラム
プログラムテーマ例…障害って何？・介護を頼もう（介護者との関係）・制度学習・フィールドトリップ・お金の管理・調理実習　　…など
◇宿泊体験－民間のアパート（自立生活体験室）に泊まって、自立生活を体験するプログラムです。
◇自立生活をめざすための住宅サービス（アパート等の住居の確保）
◇広報誌の発行（制度や自立生活のノウハウに関する情報提供、情報交換）

各サービスを利用される方には、協力会費を頂いております。
入会ご希望の方は、下記までお問い合わせください。
会費：年額4,200円(年度途中から入会の場合月額350円)

《編集》自立生活センター･小平
〒187-0003　東京都小平市花小金井南町
１－１８－４５－１０－１Ｆ
TEL/042-467-7235　FAX/042-467-7335
Ｅ－ＭＡＩＬ：cilkodaira3@hotmail.com

《発行所》
障害者団体定期刊行物協会
世田谷区祖師谷3-1-17
ヴェルドゥーラ祖師谷102号室
（定価　100円）